

# 山形新聞

38年2月15日

発行所  
福島県埴町役場  
編集  
庶務課

家中みんなで  
火の元に  
注意しよう!

第 16 号

## 一七農業委員決まる

### 投票率九〇・四三%

町農業委員会委員の選挙は、  
今月十日、十三投票所で行なわれ、即日開票の結果  
新しい十七人の委員が決まりました。  
投票率は町全体で90・43

％、投票所の最高は植田の95・  
12％でした。

▽得票数次のとおり

少数点以下の数字は按分(あ  
んぶん)によるもの

二九八 菊池 二郎・片貝  
二九五 吉田 勘市・東河内  
二九五 品川 利助・真名畑  
二九一・二四二 金沢源藏・植田  
二八四・六八八 鈴木昭男・大蔵  
二四四

農委選

二九九 松本 博光・田代  
二三〇・三四一 鈴木正善・伊香  
二〇五 白石 春一・川上  
二〇二・四〇九 青砥嘉雄 西河内  
二〇一・六二九 金沢源太木野反  
一九八 白坂 政材・上波井  
一九四 石川 常弘・上石井  
一八三 大森卓太郎・湯殿  
一七九 星 顕正・板庭  
(以上当選者)  
一七六 石井庄之助・埴  
一七二・四九〇 藤田重雄・雨谷  
一五六 岸波 玄一・川上  
一〇四・五〇九 藤田竹治 郎山形  
七〇 下重庄太郎・山形  
五四 小貫 憲男・片貝



がんばって下さい

### ◆ 新聞少年のつどい開く

○…雨の日も風の日も、身を刺すような寒い朝も、もくもくと新聞を配達している少年達を励まそうと、去る1月15日公民館でそのつどいが開かれました。

○…この日は、町内3新聞店に働く少年81人が集まりましたが、近藤町長、古市議長などから

つらいでしょうががんばって下さい」と励ましをうけると、イガグリ頭の少年達は、**「やるぞ」**という決意にホホを紅潮させていました。

○…このつどいでは、永年配達している下重昌二君(上波井・埴高校1年生)ら15人に主催者の白石公民館長から表彰状などが贈られました。

(写真は集つた新聞少年)

### 税のコーナー

**申告の方法**  
前記①の所得税納税義務者は税務署から通知が行きますから指定された場所(さい)願います。

滞納処分は、お互いにならなければなりません。滞納処分は、お互いにならなければなりません。滞納処分は、お互いにならなければなりません。

**滞納税金は三月末まで**  
滞納税金は、三月末まで滞納されるようご協力下さい。

**申告は早めに**  
未納の方には、きよ年の十一月から十二月にかけて、たびたび催告書を送り、完納なり分納誓約をしなくてはなりません。

**滞納税金は三月末まで**  
滞納税金は、三月末まで滞納されるようご協力下さい。

**共同納税相談会**  
共同納税相談会場で申告して下さい。

**共同納税相談会**  
共同納税相談会場で申告して下さい。

### 統合中問題

別項のような経過でできた

た埴町中学校統合調査会は、町長の諮問により、実際の活動に入った。まず敷地担当の第一分科会は一月二十八日、二月一日と相ついで会合をもち現地調査もして竹之内・板庭地内など三プロックを候補地として選定した。また、第二分科会は、二月四日通学区域や通学方法について初会合をもち、竹之内・板庭地内を敷地とした場合は、湯岐真名畑など四路線のバスについて運行なり、増発なり考えること。桜木町地内に簡易停車場を新設することなどに意見の一致をみた。

設けることとし、台宿地内、上石井地内、町営グラウンド、羽黒山周辺、竹之内地内、板庭地内を次回に現地調査することになった。

また、この土地の所有者、耕作者との折衝は、別に委員会等設けることにした。

第二回は、二月一日役場前に集合、十五委員が現地調査を行

ツクを第一候補地とすることに

なった。

第二分科会は、二月四日十六人の委員が参集、役場で開かれたが、第一分科会が候補地とした竹之内・板庭地内に中学校を建設するとして場合の通学区域や通学方法について慎重に審議した。

その結果

### ★第二分科会

第一分科会は、二月四日十六人の委員が参集、役場で開かれたが、第一分科会が候補地とした竹之内・板庭地内に中学校を建設するとして場合の通学区域や通学方法について慎重に審議した。

その結果

第一分科会は、二月二十八日午後一時、十三人の委員が出席し、役場で開かれた。

理想敷地として、町教育委員会が希望する①町の中央であること、②夏涼しく冬暖かいこと

③閑静な場所であること、④将来のため九千坪位入手できる場所であること、について長時間協議したが、なかなか見つからず、桜木橋を基点とし、一キロメートル位の範囲内に予定地を

設けることとし、台宿地内、上石井地内、町営グラウンド、羽黒山周辺、竹之内地内、板庭地内を次回に現地調査することになった。

### ★第一分科会

第一分科会は、二月二十八日午後一時、十三人の委員が出席し、役場で開かれた。

理想敷地として、町教育委員会が希望する①町の中央であること、②夏涼しく冬暖かいこと

③閑静な場所であること、④将来のため九千坪位入手できる場所であること、について長時間協議したが、なかなか見つからず、桜木橋を基点とし、一キロメートル位の範囲内に予定地を

設けることとし、台宿地内、上石井地内、町営グラウンド、羽黒山周辺、竹之内地内、板庭地内を次回に現地調査することになった。

第二分科会は、二月四日十六人の委員が参集、役場で開かれたが、第一分科会が候補地とした竹之内・板庭地内に中学校を建設するとして場合の通学区域や通学方法について慎重に審議した。

その結果

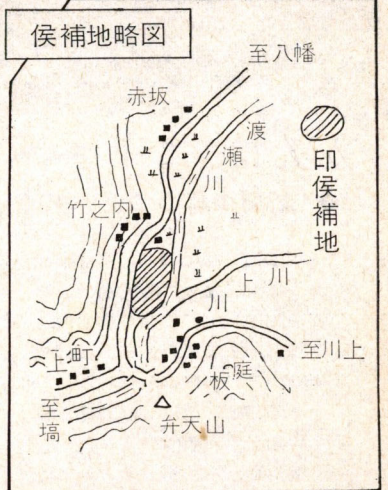
第一分科会は、二月二十八日午後一時、十三人の委員が出席し、役場で開かれた。

理想敷地として、町教育委員会が希望する①町の中央であること、②夏涼しく冬暖かいこと

## 竹之内・板庭を候補地

### 汽バス通学生に町補助を

#### 分科会の調査進む



△教育効果を上げるためにはまずよい環境、最も充実した施設で学ぶことが条件とされる。

▽特に中学校の場合、一つ一つの科目を専門の先生が担任指導にあたるため、規模の小さな学校には全科目について全部の先生を確保することができない。

▽学力に直接影響があるといわ

このような問題をいかにして解決するか、町当局はもちろんな町議会、町教育委員会など関係機関の大きな課題となっていた。○：即ち、さかのぼって三十八年一月埴中学校生徒急増対策と関連して、埴中学校に増築しない、統合中建設案があったため、町議会から十人の統合中学校敷地選定委員が選出され、敷

合 長 下重政雄  
副会長 鈴木正雄、緑川剛  
◆第一分科会 敷地の選定及び造成に関すること  
●大滝 要、○金沢明良、○緑川秀夫、古市貞蔵、鈴木正男上妻 一、園部岸松、小峰光郎鈴木 晋、近藤貞寿、星 顯正

◆第二分科会 通学区域  
通学方法に関すること  
●青砥 惣、○吉田一良、○園部猛馬、白坂邦衛、金沢 守菊池栄治、星 義忠、上妻 一

住民の民意の調整に関すること  
●上妻栄重、○小峰英敏、○吉成 繁、芳賀卓爾、小野研吉大森卓太郎、小峰与市、上妻一金沢芳郎、園部岸松、小峰光郎

町議会の調査委員会、建設審議委員、PTA役員(区長代表)と特別委員四十七人(区長)で構成されたが、民意尊重のためまえから、広範囲の町民代表をもつて組織された。また調査項目の関係から、四分科会を設け

統合調査会名簿

◆第四分科会 校舎の建築計画に関すること  
●大縄佐一、○鈴木達雄、○木村文江、石川重文、生方福祐佐藤義男、加勢甲子夫、上妻一園部岸松、小峰光郎、鈴木 晋園部幸弘、鈴木清晴、戸井田左右民

○：この調査会は委員五十五人(議会議員、教育委員、建設審議委員、PTA役員、区長代表)と特別委員四十七人(区長)で構成されたが、民意尊重のためまえから、広範囲の町民代表をもつて組織された。また調査項目の関係から、四分科会を設け

移動広報室日程  
— 中学校統合問題について、次の日程で、話し合いの会を開きますから多数お出かけ下さい。  
☆一月二十一日 木野反分校 大蔵分校  
☆一月二十五日 真名畑分校 植田分室、伊香分校  
☆一月二十六日 東河内分校 西河内分校、八幡公民館  
☆二月二十七日 田代分校、丸ヶ草分校。

時刻は、追ってお知らせします。

おねがい  
町政の焦点となっている統合中学校問題について、あなたのご希望や意見をお寄せ下さい。

この新聞は、皆さんの新聞です。家中でお読み下さい。読んだ後は纏っておきましょう。

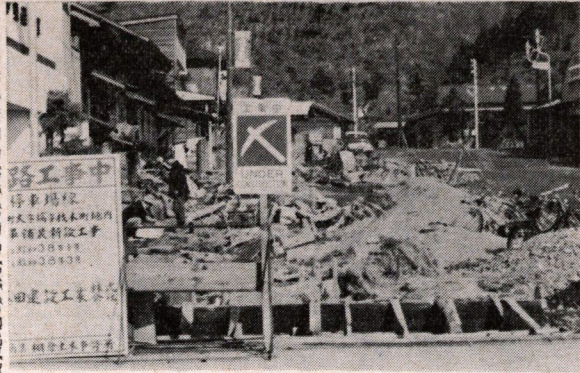
# 駅前大通りがきれいに

## 0000 舗装始まる 0000 街路樹も計画

駅前大通りが県の手によつてきれいに整備されることになりました。

これは、道路の舗装で、すでに今月初め着工しましたが、いま車道、歩道の区切りをつける工事が寒風の中で盛んに行なわれています。

舗装の規模は、国道から駅に向かつて駅前広場の手前まで約8メートルの長さ巾は全部で15メートル。このうち道の両側にそれぞれ2.5メートルの歩道ができることになりました。舗装は、とりあえず車道だけ行なわれ、でき次第追加工事として歩道も舗装されますが、小規模とはいえ、街路樹に初めての整備された道路が上ります。



整備される駅前通り

もつ満州建設労働者隊員にも引揚者給付金支給  
もつ満州建設労働者隊員は、いままで引揚者給付金は支給されませんでした。今度次の資格がある方に限り、支給される

### お知らせ

事業費は百四十五万円で、内訳は員費百一十五万五千円、町負担金二十九万五千円、大字端の負担金四万四千円、歩道舗装の追加事業費は二十万円で、三月末日完成予定。

## が全国に放送

### 鈴木ともえさん(真名畑)

#### 「青年の主張」……

#### 一人の話題

「たいしてあがなかつたです。そんなので、つてから皇太子ご夫妻にお会いしたときは、胸がドキドキしました。」第九回NHK



「私達がこれからやらなければならないことは、一年を通してひらかれ、しかも小さい幼児もあつかる年間保育園をつくることであります……。」

(NHKホールで発表する鈴木さん)

ことになりましたから、該当する方は役場窓口に申し出て下さい。  
なお、この受給権は昭和38年5月16日までに請求しないと時効になりますからご注意ください。

### 資格

- ①昭和20年に奉仕隊員として渡航し、勤務に従事した方(引率者を含む)であること。
- ②将来は開拓民、開拓女學生となつて該地に永住する意志のもとに渡航した方であること。
- ③終戦後に本邦に引き揚げた方であること。

### 今年の入学児童 四百三十七人

教育委員会がまとめた今年の入学児童は次のとおり。きょうより十二名増えている。

- ▽埴小 188人
- ▽上右井分 14人
- ▽菅豊小 34人
- ▽東河内分 12人
- ▽西河内分 16人
- ▽笹原小 59人
- ▽木野反分 12人
- ▽大蔵分 11人
- ▽田代分 11人
- ▽丸ヶ草分 12人
- ▽那倉小 30人
- ▽片貝

K主催「青年の主張」全国大会から帰つた鈴木さんは、こんな話をしていました。全国十人の中に選ばれ、堂々と自分の主張を述べてきた人とは思えないほど、小柄で静かな人である。

鈴木さんを電波に乗せた真名畑部落は、教育には熱心で、辺地のラク印をのけようという意欲もよそにくらべ一段と強く、これが活発な青年会活動によくあらわれております。鈴木さんの発表の動機となつた季節保育園も、三十六年青年たちとの熱意とお母さんたちの理解で実を結んだものです。

鈴木さんは、この季節保育園の保母としての体験を通じ、山村のおかれていた立場、苦境を強く社会に訴えたもので、これが県大会、東北大会で二位となり、去る一月十五日テレビ、ラジオで全国に紹介されたもので、

### 広報今年も入選

今年の県広報コンクールにおいて、本紙がきょう年に続き入選しました。なお、4月からは新しい企画でお届けする予定です。

## 一家のい



### 募集

福島県畑作原種農場 研究生 Ⅱ 将来農業経営者たんとする青年。人員20名。中卒者で思想堅実身体強健な男子。入場期間38年4月から1年間。二本松岳農寮へ入り、学料・実習・課外研究・体育など学費。締切り3月10日。詳細役場へ。

### 募集

産業開発 青年隊 Ⅱ 国土開発・海外進出の第一線技術者養成。教育・建設機械運転、整備、測量、土木施行など。資格 中卒以上申し込みは県庁都市計画課か役場へ。締切り2月28日

# 農事だより

## 有効な草木灰

草木灰は有力なカリ自給肥料で、カリ成分の八、九割は水溶性カリである。肥効は速効性で化学肥料の塩化、硫化などに劣らないが燃焼温度が高く、長時間高熱状態におくと、不溶性のケイ酸カリとなって肥効が悪くなる。また水溶性のため、雨にあてたり、火を消す時に多量の水を使うとカリが流れてしまうので、普通よりも早めに消した方がカリが多くなる。

アルカリ性であるから、酸性土に適用し、魚肥、油カスなどの分解を早め、肥効をうながす作用があるが、下肥に混合するとチツ素ガスとなって揮発するから、これはさけること。このほか、アンモニ態チツ素肥料、たい肥、過石などの配合もよくない。タネの発芽、幼植物の芽などを害するので、施すときは注意を要する。

第一に、農業に恵まれた国士、そして資源(水・気候)を有効に利用して、生活に必要な生産物を国内で間に合わせるという大きな目標を忘れてはならないことです。

第二は人の問題で、農業就業者は総就業者の約三割もあり、その外に農業生産物を加工して生活している人、農機具や、農業肥料のような農業生産の資材を造っている人、これらの人たちが農業が落ちぶれたとなると大変なことになる。他の産業に直ちに吸収されることは不可能でしょうし、こう考えてくると益々農業とは重要な産業であります。

農業の体質改善が必要となる

このように多い人口を擁(よう)する農業であり、極めて大切な産業であることから、国も県も町も農家も一緒になつて、これを強力に改造改善を加え(もうか)る農業になるよう体質改善を推し進める必要があるのです。

すでに補助、援助を受けているで、自力でこのような事業をやっている人もあるし、個人では零細なために協同で

# あすの農業

めて大切な産業であることから、国も県も町も農家も一緒になつて、これを強力に改造改善を加え(もうか)る農業になるよう体質改善を推し進める必要があるのです。

すでに補助、援助を受けているで、自力でこのような事業をやっている人もあるし、個人では零細なために協同で

のような合理的近代農業を達成している人もたくさんあります。

しかし農業全体から見ると全部の農家が出来るものではないかもしれません。そこで国は国全体としてこれを強く推し進めようとしてこれをサポートします

構造改善対策事業であります

国はどんな村造りを考

えているか

国は、農業構造改善対策事業を通して、都会とつり合いのとれる収入があり、生活ができる適正な大きさの自立経営農家を造ろうとしています

全国平均して二・三町歩の耕地面積がなければ自立できる農業とはいわれないということです。

一方では自立経営を補う立場から、協業ということも考えられ、無駄な経費をばくため共同の施設や、機械の共同利用、あるいは経営の全部とか一部の共同化も進められていきます。

更に、これを制度上から推進ひやくするため農地法や、農協法の改正も行なつており

## 経営

わが家の経営をみつめる時期です。どこをどう改めてゆけばより所得を上げることができるか？ 家族と、近隣の人たちと話し合ひたい。新しい仕事をとり入れるときは、必ず技術のカンドコロもなと技術を得てからにしたい。省力可能なものについては、できるだけ省力し合理的な労働配分計画をたてたい。

## そ 菜

育苗を必要とするものは、資材その他の準備にとりかかりたい。定植予定日(5月上、中旬ごろ)を決め、それから逆算して育苗を始める。それぞれの育苗に要する日数は、トマト70日、ナス75日、きゅうり60日、ピーマン60日である。ジャガイモは種いもを更新しないと良いものを増収できない。良い種いもを買ひ入れる手配をしておきたい

## 稲 作

品種の選定による種子の手配、ビニール畑苗代の準備、温床紙の準備、共同防除計画がある場合は、いまから話し合つておきたい。

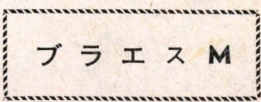
## 今月の農作業

## 畜 産

寒さがきびしいので、畜舎の保温につとめたい。大家畜は、日光浴やカルシウムなど不足しないように。カブ、大根など多汁質のものは凍つたものを与えないようにしたい。せめて週に一度ぐらいはハケがけをしてやりたい。

## 新農薬解説

### いもちに特效



おさえるはたつき、つまり治療的な効果のあることがこの薬の特徴です。

そこで、現在市販されているブラエスMは、ブラエスに水銀剤を入れて予防と治療の両方の効果をねらっているのが効きめが強い農薬です。

○人畜、魚毒は低く、稲への薬害は少ない。ただ薬価が水銀剤より高く豆類などに薬害がある。また、眼に入ると血膜炎を起しやすなどの欠点はあるが、水銀剤と並んでイモチ病撲滅に威力が期待できます。

○この農薬は、イモチ病の特效薬として、新しく発売され、町でもきよ年から使われております。

ブラエスとは、プラストサイジンSという抗生物質で、わが国で発見され実用化された国産第一号です。プラストは英語で「いもち病」、サイジンは「殺す」という意味で、いもち殺しということになります。

○いもち病菌がイネのからだに付着する前に散布しておいて飛んできた病菌を殺す水銀剤などの効き方を予防効果といいますが、ブラエスMは病菌がイネの体内に入り、病斑の広がりを

◇価格は  
粉剤 三キロ(一反分) 三百四十円  
水和剤 一キロ(一反分) 百円

## お知らせ

### 稲大豆のタネは 今月末配布

先に農事組合長さんを通じ、注文を受けた稲、大豆の種子は町内採種ほ場で足りず、県に頼んだため配布が遅れておりましたが、今月下旬に各農協が配ることになっておりますので、もうしばらくお待ち下さい。



▽一般の方は二月というといくらかといわれたいますが、役場はいま予算編成や新年度の計画などで、目を追う毎にそがしさを増しています。加えて中学校統合同題も調査会の結論待ちといえ当面の大きな問題で、いつに無くせわしい年度末になりそうです。▽立春を過ぎたといえ、まだ寒い日は続きます。今年に入つてあちこちに火事が発生しています。寝る前、出る前にもう一度火の元を注意しましょう。